



主要な農作物の生育情報

平成25年度 第5号

(平成25年8月14日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

8月6日現在の農業総合センターの生育調査では、草丈が平年よりやや長く、茎数は品種及び地域によってばらつきがあり、会津地域でやや少ない傾向です。出穂は、平年並みからやや早い状況です。

表1 水稻の生育状況 (※)

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	7月30日調査		出穂状況	
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	出穂始期 本年 (平年)	出穂期 本年 (平年)
本 部	コシヒカリ	5.01	85.3 (101%)	566 (108%)	(8.10)	(8.12)
	ひとめぼれ	5.01	80.7 (101%)	574 (99%)	8.03 (8.03)	8.06 (8.05)
浜 地 域	コシヒカリ	5.10	90.7 (108%)	528 (91%)	(8.11)	(8.12)
	ひとめぼれ	5.10	88.1 (110%)	599 (104%)	8.04 (8.01)	8.06 (8.04)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.20	98.3 (109%)	477 (93%)	8.03 (8.06)	8.06 (8.09)
	ひとめぼれ	5.20	93.4 (107%)	535 (90%)	7.28 (8.01)	7.31 (8.04)

※ 調査：農業総合センター本部（郡山）、浜地域研究所（相馬）、会津地域研究所（会津坂下）
草丈、茎数の（ ）内の数字は本部と会津地域は平年比較を、浜地域は前年比較を示す。

●農業総合センター作況試験（水稻）の調査結果はこちらも参考にしてください。

http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/sakkyou_index.htm

【野 菜】

1 きゅうり

須賀川地方の露地栽培では、5月下旬から6月上旬にかけての少雨・乾燥により根張りが弱い傾向となっています。長雨による湿害で、草勢が低下しているほ場が見られます。また、べと病が発生しており、炭そ病や褐斑病等の拡大も懸念されます。

2 トマト

県南地方の定植は4月中旬頃で、現在、13～14段目が開花、6～7段目が収穫期を迎えており、平年並みの生育となっています。5、6月は日照量が多く、夜間の気温が低く経過したことから花落ちが少なく、1～4段までの着果と果実肥大は良好で、着果数は平年より多い傾向でした。

会津地方平坦部の定植は4月下旬頃で、12～13段目が開花、6段目が収穫期を迎えています。山間部では定植は5月中旬～6月初旬で、現在8～9段目が開花、2～3段目が収穫期を迎えています。出荷時期は平年より3～4日早い状況でした。

南会津地域の生育は、ほぼ会津地方山間部と同じ状況です。

各産地とも着色が遅れる傾向で、草勢低下や灰色かび病の発生が見られます。また、7月初旬からオオタバコガが発生しており、発生量は平年より多い状況です。

3 ピーマン

田村・安達地方の夏秋栽培は、7月中旬以降の長雨・寡照の影響で果実の肥大が遅れ、草勢も低下しています。排水不良のほ場では、斑点病が発生しています。また、タバコガの被害が平年より多い状況です。

4 アスパラガス

会津地方の半促成栽培は、現在、夏秋取りの出荷のピークを迎えています。露地栽培は、今後出荷量が増加する見込みです。降雨により茎枯病が発生しています。

【果 樹】（8月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると「あかつき」は縦径が69.6mmで平年比105%、側径が79.2mmで平年比107%と平年より大きく、「ゆうぞら」は縦径が58.2mmで平年比104%、側径が56.7mmで平年比103%と平年よりやや大きい状況です。

「あかつき」の収穫始めは8月2日で平年並みの状況でした。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると「幸水」は縦径が56.6mmで平年比107%、横径が71.2mmで平年比110%、「豊水」は縦径が55.8mmで平年比106%、横径が64.0mmで平年比109%と、両品種共に平年より大きい状況です。また、満開後日数による比較では、両品種共に平年よりやや大きい状況です。

「幸水」の収穫予測では、収穫盛期が8月31日頃で平年より2日早いと予測されます。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると「つがる」は縦径が69.8mmで平年比106%、横径が80.0mmで平年比106%と平年より大きく、「ふじ」は縦径が59.9mmで平年比101%、横径が67.0mmで平年比103%とほぼ平年並みの状況です。また、満開後日数による比較では、両品種共に平年よりやや大きい状況です。

【花 き】

1 キク類

県北地方の8月咲きのコギクは、お盆需要期の出荷が見込まれます。白さび病が発生しています。

2 りんどう

安達地方の早生品種では、お盆需要期の出荷が見込まれます。

南会津地方の8月盆咲きは、出荷盛期が8月9日頃になる見込みです。

【飼料作物】

牧草の生育は平年並みですが、降雨が続く影響で2番草の収穫・調製作業が遅れています。倒伏、刈遅れによる品質低下と蒸れによる株への影響が懸念されます。

飼料用とうもろこしの生育は、やや遅いものの、収穫期、収量ともに平年並みが予想されます。早生種では8月中旬に収穫期を迎える見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224